

# 福井県退教通信

編集・発行所  
福井県退職教職員会  
郵便番号 910-8544  
福井市大手2-22-28  
福井県教育センター内  
電話 (0776)23-9191  
第47号

## 会長挨拶

### 「赤い実」からの学び

…充実した生き方を求めて…



会長 奥本明義



晩秋から冬にかけての庭では、梅擬、青木、南天、千両、万両等の実が赤く色づき、目を引きつけられます。年のせい、春の花にも増して、こうした赤い実におしさを感ずります。

中でも、夏、葉陰に白い小さな五裂の花を散房状に咲かせ、花後にエンドウ豆ぐらいの球果を結び、ゆつくりと赤く熟し、雪の下でも、どっしりした趣を出す万両の実に心引かれます。

県退教の世話係を仰せつかり、多くの先輩諸氏の話を伺う機会に恵まれました。その方々の珠玉のような生き方が、万両の実に重なったように思われ、多くを学びました。以下、その学びを、憧れと感謝の念を込めながら、6つにまとめてご紹介します。

充実した生き方探しの参考になれば幸いです。

### 「打ち込める」ものを持つ

請われた仕事等はできる限り引き受け、取り組み始めた創作や栽培に没頭する等、毎日やりたいこと、やるべきことを持ち続けることで、年齢を感じさせない

若さを保持する。

### 「夢と絆を追う」足運び

興味あることに密かに打ち込むだけでなく、交流や発表など、外に向けた積極的な姿勢で夢を追い、絆を

求め、広がりや深まりを増幅していくことで、老化を防止する。

### 「気分転換」のための行動

思い通りにならない時、行動の区切りに気分転換できることを上手に挟み込み、リフレッシュする習慣を身につけ、常に前向きな思考への手立てを持つ。

### 「衰えさせない」記憶法

自己の体験を分析し、意味づけるのをエピソード記憶法とか。その記憶に基づく話は、時を忘れて聞き入る魅力があり、衰えを感じさせない。

### 「入力・貯蔵・出力」の駆使

注意深く見聞きし、深く理解し、記憶にとどめおき、時に応じて口に出して活用する。この3つの記憶システムに基づく話は豊かな知識と知恵に満ちた宝庫。

### 「尊敬される」年寄り

何らかの形で人のためになっている、頼られ感謝されているとの実感・自負が、さらなる努力への意欲を高め、生き生きとした生活と尊敬される年寄り像が形成されている。

「日本のマチュピチュ」と「日本六古窯」を訪ねる

## 竹田城跡・出石・丹波篠山めぐり

夢千代の里 湯村温泉1泊2日の旅

1. 期日 5月12日(火)～13日(水) (1泊2日)
2. 行先 兵庫
3. 費用 (お一人) 37,000円(予定) 退職互助会の宿泊利用補助券も使えます。
4. 募集 80名(先着80名とさせていただきます。お早めにお申込下さい。)

参加希望者は2月27日(金)までに〒910-0005 福井市大手2-2-28 県教育センター内 県退教会宛 ハガキで申し込んでください。

(※氏名・年齢・性別・郵便番号・住所・電話番号を記入のこと)

参加者には後日資料(4月中旬)を郵送します。



1	5月12日 火	福井各地(福井駅東口8:00予定) = (北陸・舞鶴若狭道/各インター乗車) = = 福知山 = 大町藤公園(500m 続く藤棚) = 夜久野(昼食) = = 竹田城跡(天空の城跡/専門ガイド・マイクロバスを予約済み) = 湯村温泉(泊) 16:00ころ
2	5月13日 水	ホテル(8:00) = 出石(但馬の小京都 城下町を専門ガイドが案内) = (高速) = = 丹波篠山(大書院・庭園を見学後、街並み散策/昼食) = = 立杭 陶の郷(日本六古窯丹波焼) = 篠山 = (舞鶴若狭道/嶺南各インター下車) = = 福井各地(福井駅東口19:00予定)

※ 交通状況や施設・機関の都合により記載時間、行程に変更が生じる場合があります。

平成27年度  
親睦旅行  
実施計画の  
ご案内

## オカリナを楽しむ

福井支部 長谷川 初枝

退職後、オカリナを始めて4年になる。今は、教室で一緒だった仲間とアンサンブル演奏を楽しんでいる。一昨年からはボランティアでデイホームや介護施設等を訪れ、演奏している。童謡や歌謡曲を聴いたり歌ったりしてもらっているうちに、はじめはうつむいていた顔が前を向き、口を動かし始め、歌声が大きくなってくる。終わる頃には表情も明るくなり活気づいてくる。

拙い演奏と職業柄鍛えられた話術?で、喜んでもらえることは、私たちの励みとなっている。演奏の度ごとに一喜一憂し、時には自画自賛しながら仲間と練習するのは、今の私の大切な時間となっている。

## 子どもの笑顔と風の会

三方支部 玉井 容子

美浜南小学校の1～3年生の学級へ、毎週火曜日の朝8時から10分間、読み聞かせに行っています。風の会はメンバー60～80才代のおばあさん。

10分という短時間、絵本の場合は絵も見せながらなので、本選びが大変です。幼い子どもですから読み方も考えなければなりません。

上手く丁寧に終わり、子どもたちの嬉しそうな反応が返ってきた時、こちらも本当に嬉しくなります。お互いに笑顔で感謝の「ありがとう!!」が出ます。

月の終わりは楽しい反省会。

## スポーツ吹矢を始め

勝山支部 和田 次泰

スポーツ吹矢の体験会があり参加してみました。腹式呼吸を取り入れた「スポーツ吹矢呼吸法」が、その基本動作です。肺気腫で肺機能が落ちてきているので、自分にとってはピッタリのスポーツだと思っています。

スポーツ吹矢は、まだ一般にそれ程普及していませんが、誰でも気軽に取り組めて、奥も深く面白いスポーツだと思います。その普及に努められたらと思うと共に、これからも仲間と仲よく楽しく活動していきたいと思っています。

## 「歩く」でわくわく

敦賀支部 岸本 郁雄

東海道五十三次の吉田、御油、赤坂宿は、豊橋市とその近郊。数年前、五月晴れの中を歩いた思い出は今でも忘れられない。その時、親しくなった友は、学生時代から山歩きも趣味としており、一緒に歩いた旧東海道を江戸期の旅人氣分で、わくわくだった。

その友が、私より先に9月に逝ったことと併せて、「歩く」を想い起こさせる。

「歩く」こと。これからも少々の腰痛を気にしながらもわくわく感いっぱいには勝てない私である。

## 夢のある学校をめざして

委員長 中谷 忠裕

退職教職員会の皆様、日頃より県教組の活動に暖かいご支援をいただいておりますことに感謝申し上げます。今年より市町教委の判断で学校別結果の公表が可能となったことで、全国学力調査への世論の関心が一層増しています。学校別の平均点が公表されることになれば、一部の教科の点数が学校全体の評価とされ、序列化と競争により教育がねじ曲げられてしまいます。

県は秋田に次ぐ好成绩を取っている理由に、地域の信頼の上に先生方が真摯に教育に向き合っていることを挙げています。一方で秋田を追い越すためでしょうか、トップダウンの学力向上の施策が学校に下りてきています。かえって、多忙化を招き先生たちの自主的な研究に向ける余裕を失わせ、福井の教育の良さを阻害しかねません。

忙しさが増す一方で公務員の給与が年々下がっています。昨年の臨時削減に引き続き、今年は一給与の総合的見直しが行われ、民間賃金の低い12県に合わせて全国の公務員賃金が2%程度引き下げられてしまいました。

子どもたちの健やかな成長を支え、感動を得られる尊い教職であるはずですが、次第に自主性が損なわれ、安心して仕事に打ち込める待遇も損なわれつつあります。

残念ながら、教育現場を巡る様々な改革は一部の専門家の意見を偏重した政治の場で決定されています。その動

### 健康診断で堂々と○

大飯支部 福島 紀男

「週に1回以上2時間程度の運動をしていますか？」健康診断の一項目。退職前は残念ながらそこに○はつけられなかった。退職後ふとしたことで始めることになったソフトバレーボール。殆ど初心者。コートでは仲間の足を引っ張るばかり。自分の前に落ちるボールには、足がコートに張り付いたように動かない。でも、同年代の仲間や若いママさんたちの温かい声に励まされ、楽しくやっている。時々アタックも決まるようになった。いい汗もかく。今では堂々と「週に2時間程度の運動」に○をつけられる。

### めっけもん

大野支部 室谷 勝乃

「めっけもん」とは私たちの地方で「いいもの見つけた、ちょっと得した。」という意味で使っています。

平成16年農協女性部の「めっけもん料理コンテスト」に応募。入選がきっかけで惣菜作りの同好会「めっけもん倶楽部」が誕生しました。

会員14名で、毎日の弁当作りや近くのイベント出店販売、学校への食育ボランティアなどの活動をしています。

日々の仕事に追われ、アイディア不足・技術不足等々悩み多い事ばかりです。でもこれが生きている証なのでしょう。

### カメラはときめきのお伴

吉田支部 鈴木 昌勝

草木の葉が巻かれている。虫たちの仕業だ。半分食べられた葉は幼虫のごちそう。カメラの被写体である。ファインダーからは、食べている姿が鮮明に見える。巻いた葉を開けば、幼虫が丸くなる。その瞬間を連写する。自然界に生きる虫たちは、成虫も幼虫も美しい色彩だ。そんな自然美を昆虫に求めて、カメラはいつも必需品。散歩のお伴の最重要物。カメラさえあれば、疲れ知らず。昆虫たちの撮影時間は、私にとってのキラメキ。町内小学校から「虫の話」の依頼があるのもうれしい。



### 卓球が私に生きる力を！

武生支部 山田 宜

退職後は、バラ色の人生が待っていると思っていた矢先、難病を患い奈落の底に突き落とされた。病気を忘れる為に卓球クラブに入った。温泉卓球の私に「あなたとすると調子が狂う。」と言われ、悔しい気持ちから卓球教室に通い始めた。基礎から指導を受け、病気のことなど忘れて、上手になりたい一心で練習を重ねた。今「上手になったね。」と言われ、皆と楽しく卓球をし、生きる喜びを体感している。今後も一層練習に励み、卓球を通して活動や視野を広げたい。

## 組織内候補者

山本氏・玉村氏に決まる



福井市議会議員  
玉村正人氏



福井県議会議員  
山本正雄氏

来春の統一選挙に向け、県教組からの要請を受けて、退職教職員会は、組織内候補者に山本正雄氏と玉村正人氏を推すことにしました。両氏には、福井の教育の発展や活力ある地域創生をめざして、より一層活躍させることを期待しています。私たちも県教組と協力して応援していきます。

きは安倍首相の登場後顕著となり、「教え子を再び戦場へ送るな」の組合のスローガンも危うい事態が生まれつつあります。教育への夢をもち、福井の将来を担う子どもたちを育てるためには、政治に無関心ではいられないでしょう。地方の政治の場に私たちの声を反映できる人を送り出すことは、これまで以上に必要となっています。長年、県教組は福井県議会と福井市議会に組織内議員を送り出し、教育請願の採択や学校の実態を反映した議会活動により成果を上げてきました。この伝統を引き継ぎ、子どもたちと教職員が夢をもてる学校を築くために、来年4月に予定されている福井県議選に山本正雄氏、福井市議選に玉村正人氏を組織内候補として推薦し、全力で支援していきます。退職教職員会の皆様には、今まで同様にお力添えをいただきたいと願っております。

### 清水澄郎さん(坂井支部)



#### 〈教員時代の思い出は〉

鯖江市神明小での教員時代にボーイスカウトに出会いました。敗戦後の日本の乱れの中で子どもをどう育てたらよいかと悩んでいるときでした。「成すことによつて学ぶ」実践活動を通して生き方を教える。これだと思つて地域教育の先がけに取り組みました。現在まで65年間、子どもと共に日本中を歩き回り、金津町でもキャンプリーダーを運営しました。

野外活動と言えば、坂井郡で子どもたちが川で泳いで亡くなるという事故が続きましてね。それで、学校プールを作ろうという運動にも取り組みました。当時三国中学校にしかなかったプールを、寄付金を募つて春江小学校に作る事ができました。夏休み中一日も休まず、指導と監督をしたのがよい思い出です。

#### 〈今一番の楽しみは〉

「細呂木歴史を語る会」での活動ですね。地域の史跡を



掘り起こし、広く知ってもらうために史跡の調査や保全方法を話し合っています。若い先生方も地域の史跡を実地体験してほしいと思つて、小学校の職員研修にも行くんです。私は、教員を辞めても地域のリーダーとして夢を持たなあかんと思つています。先人の足跡を

#### 〈若い人に一言〉

「参加することが大事」が私の信条。退職後、誘われれば何にでも入りました。教育関係の仕事、地域の仕事、県政公聴会員まで多様な活動をさせてもらいました。自分が求められるのであればどの思いで引き受け、いくつもの仕事を抱えて忙しかつたですが、結局は人の為ではない、自分の為になると思います。そのお陰で、ここまで元気にこられたのです。

# お元気ですか！

年齢を重ねても、今なおいきいきと活動されている方を訪問し、長寿や豊かな生き方の秘訣についてお話を伺ってきました。

(訪問者・編集委員)

### 高橋千鶴子さん(丹生支部)



います。

#### 〈今一番の楽しみ・生きがい〉

退職後、家の神主の仕事や地域の仕事に5、6年は打ち込みました。60歳の春、好きなことをやろうと決心。子どもの頃に養蚕業をやっていた母の姿が思い出され、迷うことなく織りの世界に飛び込んだのです。近くには教えてくれる所もなく、京都や大阪の教室に通いました。夫

も後には理解して協力してくれました。作品を仕上げたい一心で夜中まで夢中で織り続けました。やりたい心を抑えるのがたいへんでしたね。その後、草木染めも始めたんで



#### 〈健康の秘訣は〉

退職時、生活が変わって体調をくずしたんです。そのとき日赤の医師に「心臓は怠け者です。

す。県美展にも5回入賞し、今は審査員の仕事もさせてもらっています。こんな田舎にいて、趣味から芸術の世界へ入れるなんて思いもしなかったですよ。私、ここ30年寝込んだことがないんです。毎日が生き生きと生活できること、こんななありがたいことはないです。好きなことをやつての30年は私の宝です。

#### 〈若い人へ一言〉

「汗を流して人に何かをしてあげる」ことのよさを見直してほしいです。何でも機械を使ってやる(上手に使いこなすというのはすばらしいですが…)、時間を早く、効率よくというだけでは何かもの足りない。もう少し自分の手を使ってする努力もほしいですね。